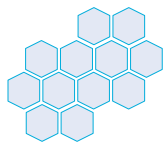


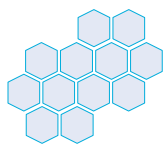
2019年2月期第2四半期 決算説明会

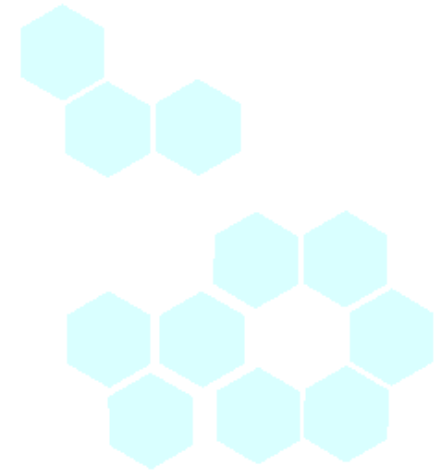
2018年10月25日

代表取締役社長 河田 淳



1.	2019年2月期第2四半期 決算概要	… P.3
2.	2019年2月期 業績見通し	… P.16
3.	中長期ビジョン	… P.20
4.	参考資料	… P.36





2019年2月期第2四半期 決算概要

2019.2期 第2四半期累計 連結業績

第2四半期累計の連結売上高、連結営業利益は**増収増益**。公表計画値も上回って着地

連結売上高:17,141百万円(前年同期比**+5.1%**)

連結営業利益:889百万円(同**+24.8%**)

下期に見込んでいたIT・工業材関連の**大型案件前倒し受注**が計画超過の大きな要因
原油価格上昇による**原材料価格上昇の影響は軽微にとどまる**

埼玉第三工場を4月に着工

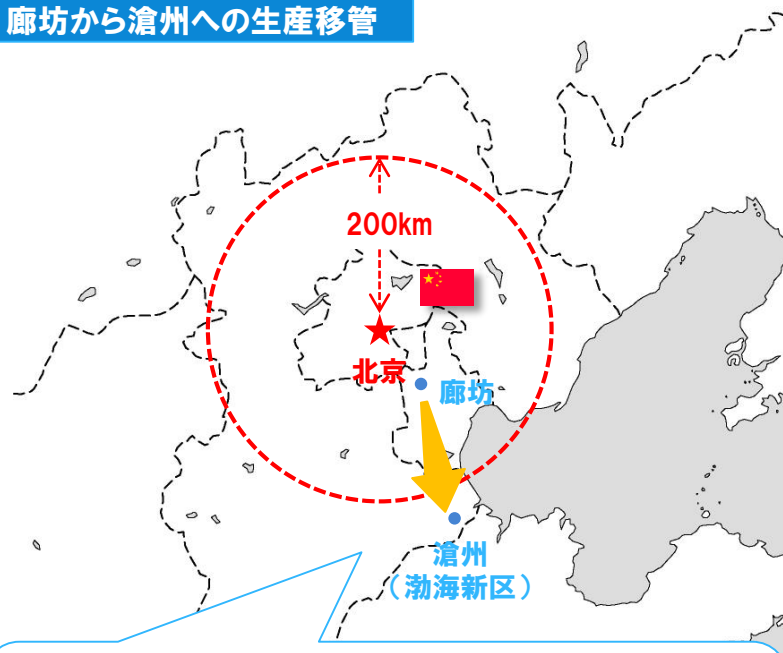


2018年4月に着工、人手不足の中、
順調に工事を進めている。9月には
工場完成し、現在機械調整を進めている

第2四半期決算トピックス

- 中国では環境規制の強化が進む廊坊から滄州への生産移管を図る
- 米国テネシー州ナッシュビルに設立した、新会社の営業を開始

廊坊から滄州への生産移管



【滄州中本華翔新型材料有限公司】

- ・2018年4月末に会社設立完了
- ・事務所及び工場棟の建築進行中

米ナッシュビルに新会社



【米国ナッシュビル営業事務所】

- ・2018年2月に会社設立完了
- ・すでに営業を開始し、早期の黒字化を目指す

決算ハイライト

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2018.2期 2Q累計 実績	2019.2期 2Q累計					
		実績	前年同期比		計画	計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上高	16,307 (100.0%)	17,141 (100.0%)	+833	+5.1%	16,600 (100.0%)	+541	+3.3%
売上総利益	2,480 (15.2%)	2,731 (15.9%)	+250	+10.1%	2,550 (15.4%)	+181	+7.1%
販管費	1,767 (10.8%)	1,841 (10.7%)	+73	+4.2%	1,830 (11.0%)	+11	+0.6%
営業利益	712 (4.4%)	889 (5.2%)	+177	+24.8%	720 (4.3%)	+169	+23.6%
経常利益	816 (5.0%)	922 (5.4%)	+106	+13.0%	780 (4.7%)	+142	+18.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	522 (3.2%)	602 (3.5%)	+79	+15.2%	480 (2.9%)	+122	+25.5%
研究開発費	37 (0.2%)	37 (0.2%)	▲0	▲1.8%	37 (0.2%)	▲0	▲1.6%
設備投資額*	871 (5.3%)	318 (1.9%)	▲553	▲63.5%	996 (6.0%)	▲678	▲68.1%
減価償却費	453 (2.8%)	425 (2.5%)	▲27	▲6.1%	447 (2.7%)	▲21	▲4.8%

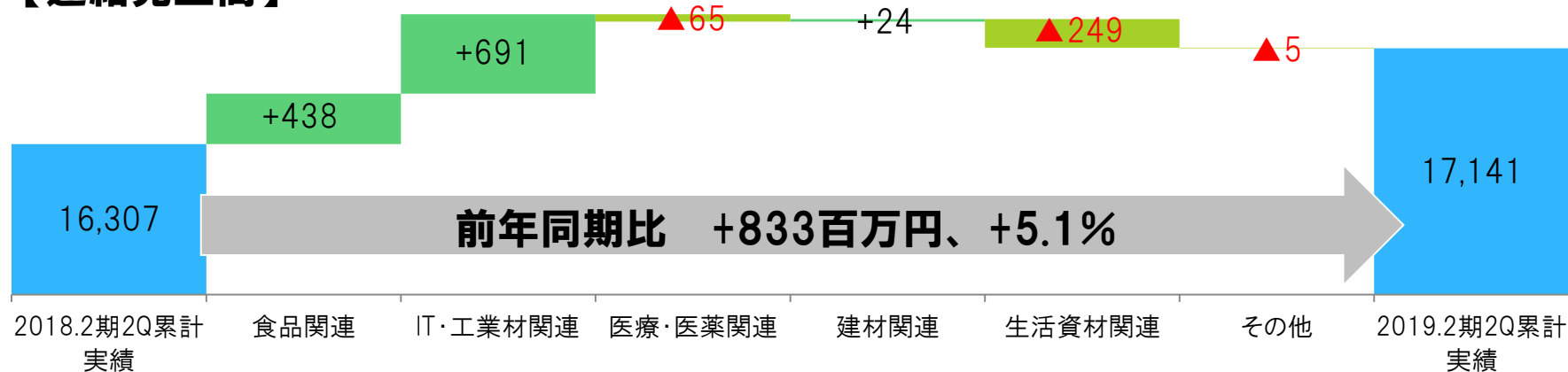
*:設備投資額には建設仮勘定は含まない

(注)換算レート 2019.2期2Q 16.69円/元

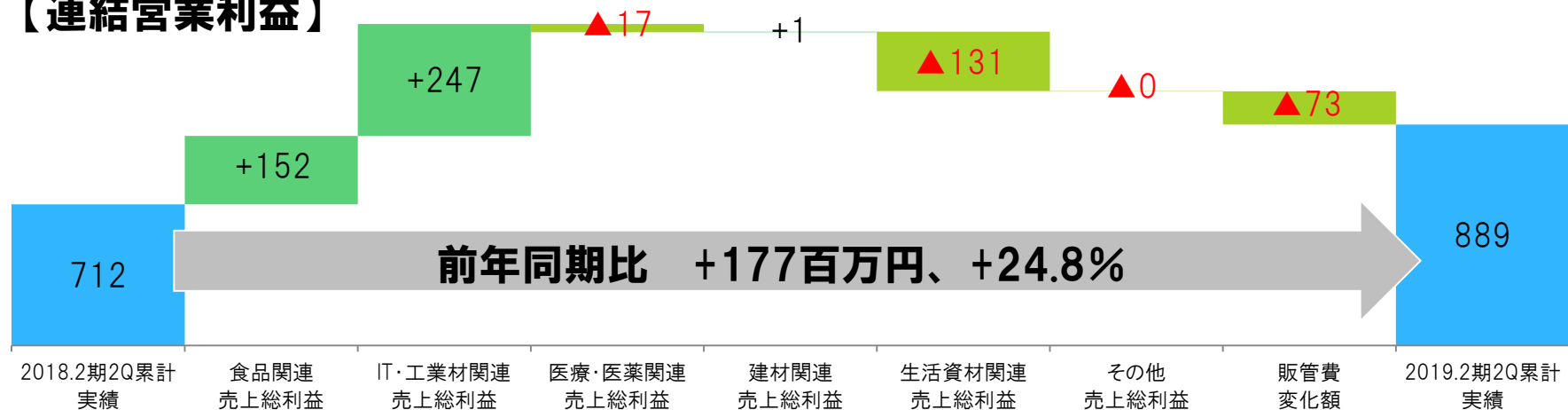
売上高・営業利益増減要因（前年同期比）

（単位：百万円）
※百万円未満切捨

【連結売上高】



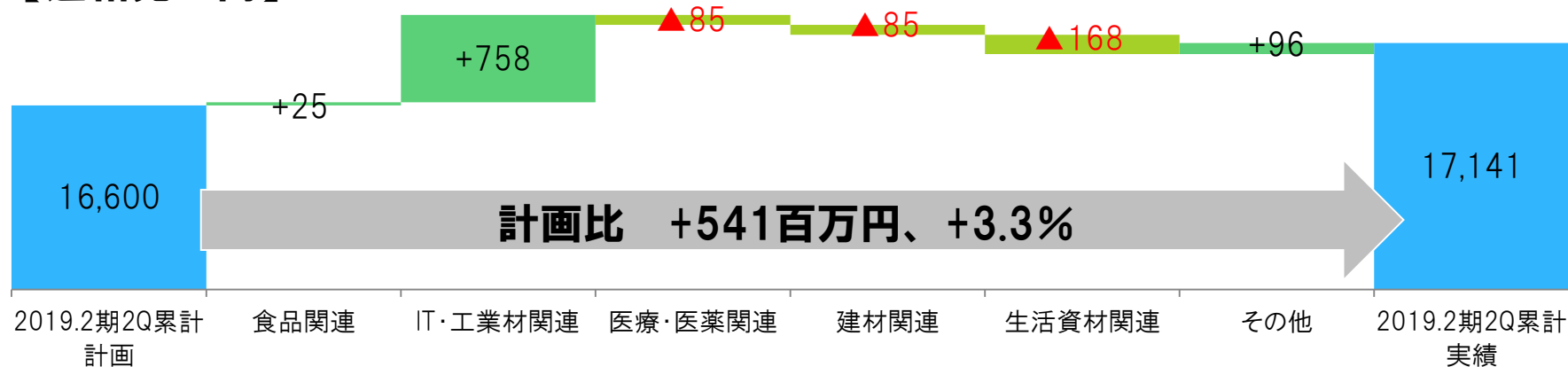
【連結営業利益】



売上高・営業利益増減要因（計画比）

（単位：百万円）
※百万円未満切捨

【連結売上高】



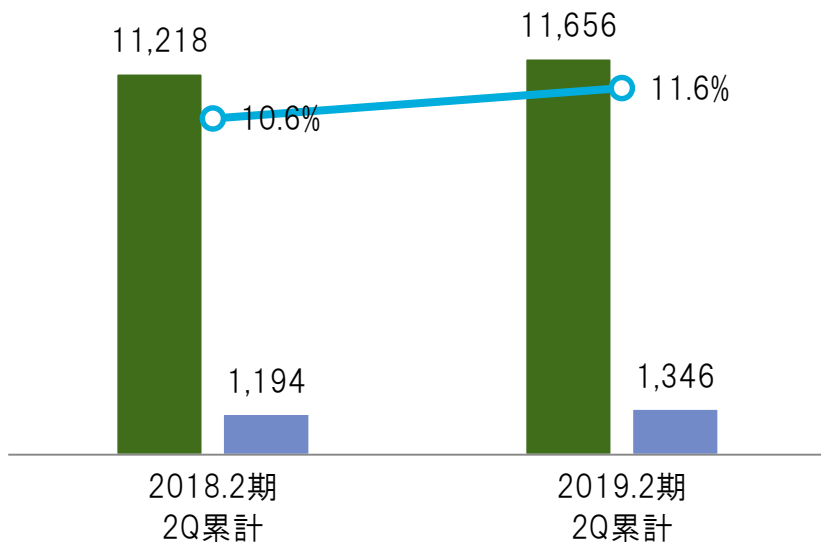
【連結営業利益】



食品関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率



当社製品 採用例



パスタ容器



弁当容器 イメージ

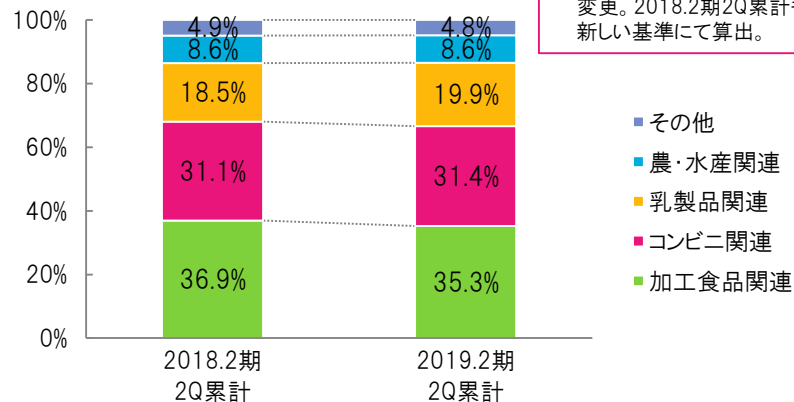


飲料蓋

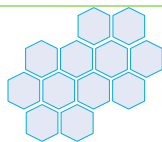
■ 主要製品別販売状況

加工食品関連	・テイクアウト用容器や和菓子用容器など全般的に堅調に推移
コンビニ関連	・パスタ、弁当関係の受注が好調
乳製品関連	・ヨーグルト、チーズが堅調に推移
農・水産関連	・トマト、キウイなどの農産物用フードパックを予定通りに受注

■ 主要製品別販売構成比(連結)



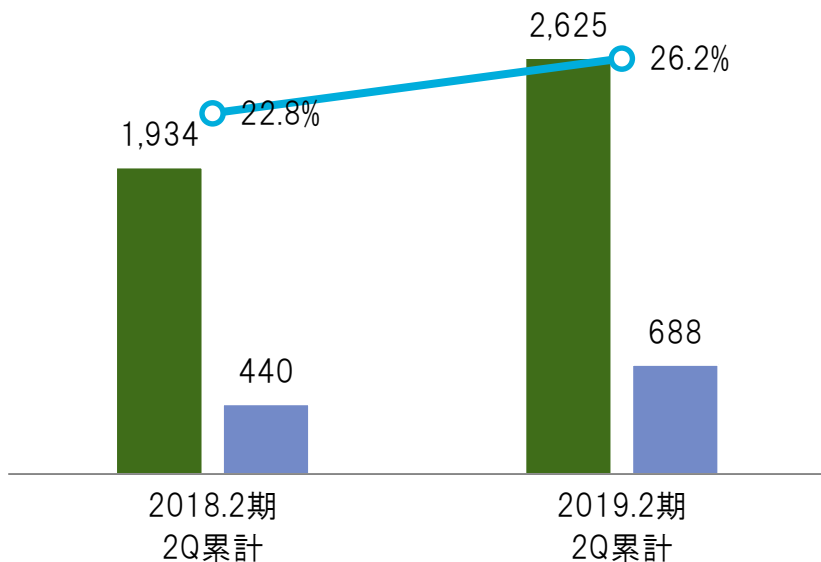
※2019.2期より区分の基準を変更。2018.2期2Q累計も新しい基準にて算出。



IT・工業材関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率



当社製品 採用例



各種工程フィルム

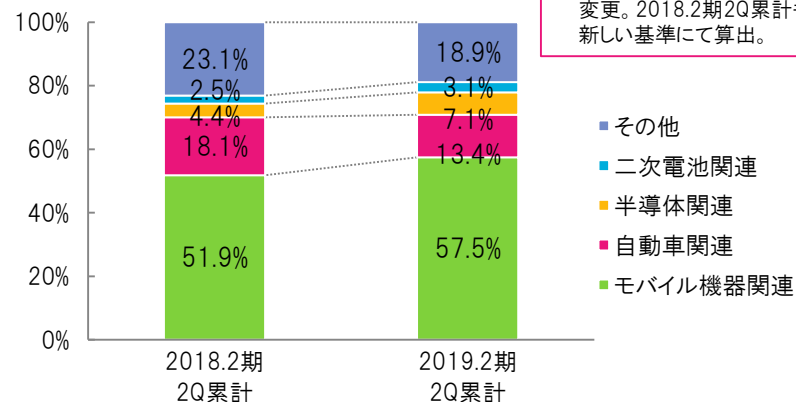


NSセパ

■ 主要製品別販売状況

モバイル機器関連	<ul style="list-style-type: none"> 大型案件の受注により大幅に増加 遮光フィルム印刷も好調
自動車関連	<ul style="list-style-type: none"> 現行品の受注は堅調に推移
半導体関連	<ul style="list-style-type: none"> 電子部品製造工程に使用するフィルム受注が堅調に推移
二次電池関連	<ul style="list-style-type: none"> スポット的な受注があり、一時的に増加
その他	<ul style="list-style-type: none"> 導電加工、電線被覆フィルム、工業用テープ等は横ばい

■ 主要製品別販売構成比(連結)

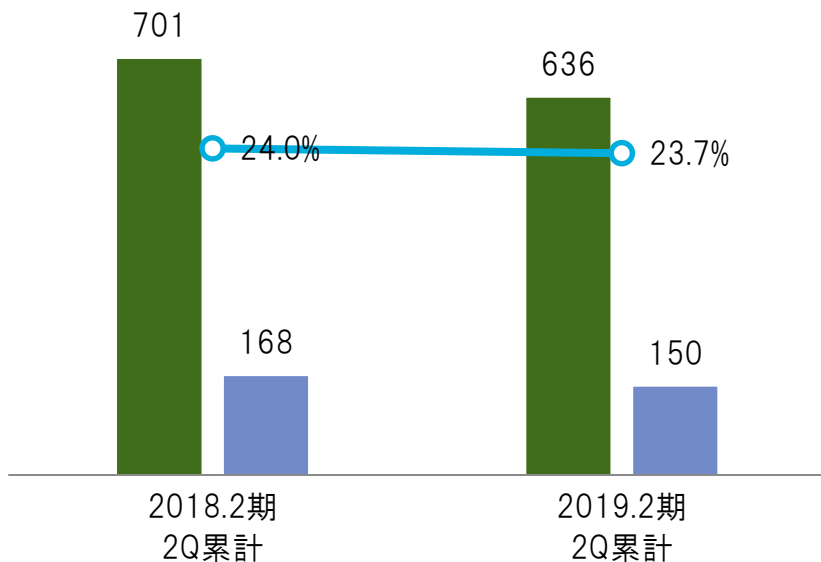


※2019.2期より区分の基準を変更。2018.2期2Q累計も新しい基準にて算出。

医療・医薬関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ○ 売上総利益率



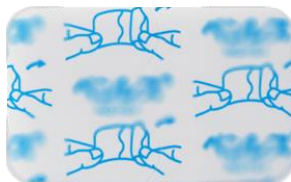
当社製品 採用例



貼付剤外装袋



絆創膏

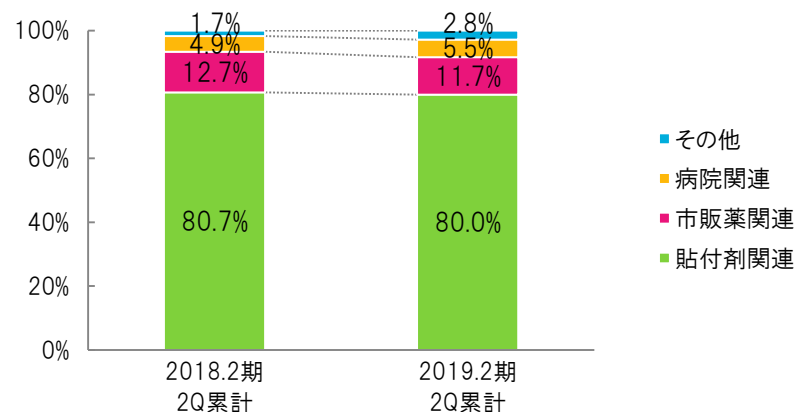


麻酔テープ

■ 主要製品別販売状況

貼付剤関連	<ul style="list-style-type: none"> 貼付剤用離型フィルムはジェネリック医薬品向けが堅調に推移 一方で、先発医薬品向けはジェネリック医薬品におされ、減少
市販薬関連	<ul style="list-style-type: none"> 一般市販薬用包装材が減少
病院関連	<ul style="list-style-type: none"> 病院向け備品の包装材を中心に微増

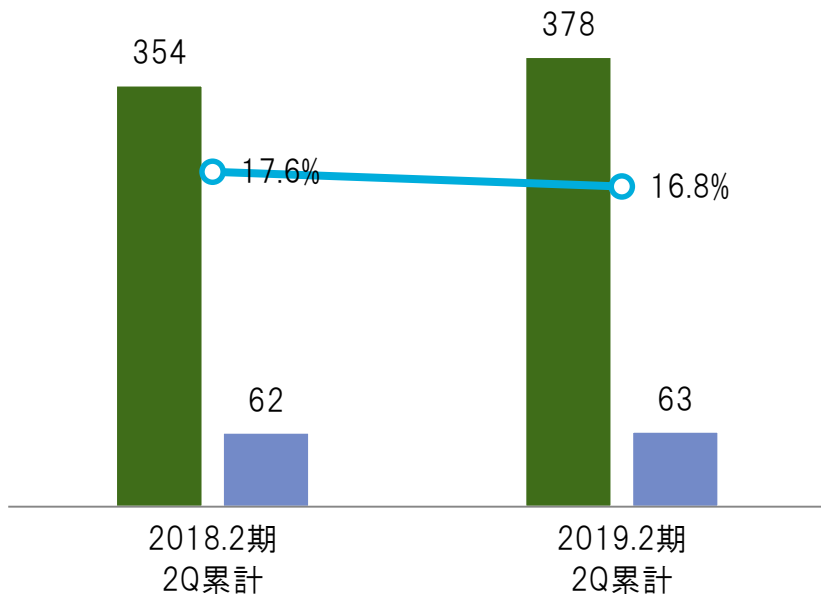
■ 主要製品別販売構成比(連結)



建材関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率



当社製品 採用例



キッチン



クローゼット

■ 主要製品別販売状況

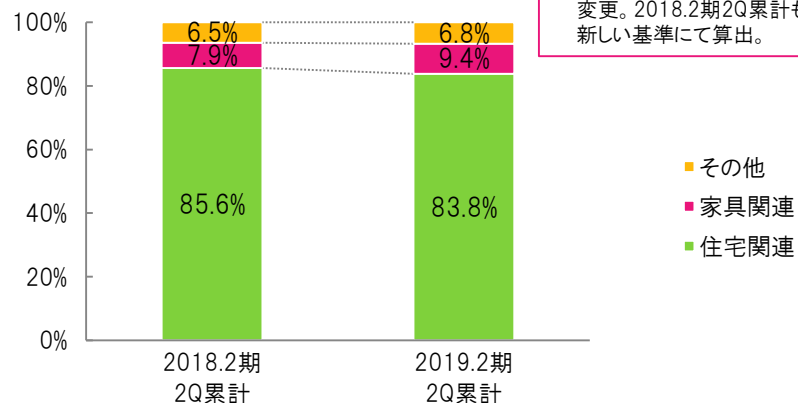
住宅関連	<ul style="list-style-type: none"> 壁紙・キッチン関係で化粧シート、自社製品のNコートを使用した化粧フィルムが好調 ふすま、障子紙等、和室関係は低調
家具関連	<ul style="list-style-type: none"> インテリア通販家具向けで新規受注 海外家具向け(輸出)が反転増加

■ Nコート

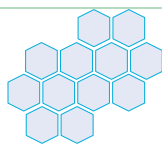
Nコートはポリプロピレン系の合成紙であり、水に強い性質を活かし、主に自動販売機用のラベル、床材に使用されている。



■ 主要製品別販売構成比(連結)



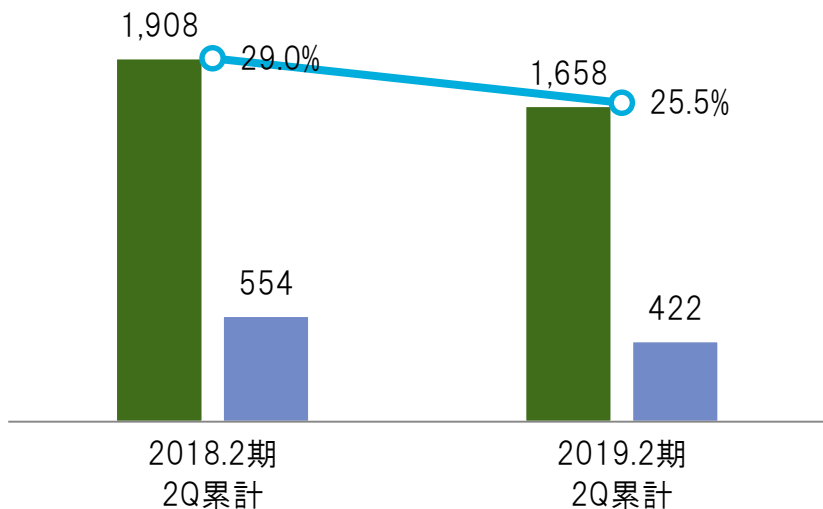
※2019.2期より区分の基準を変更。2018.2期2Q累計も新しい基準にて算出。



生活資材関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率



当社製品 採用例



防虫圧縮袋

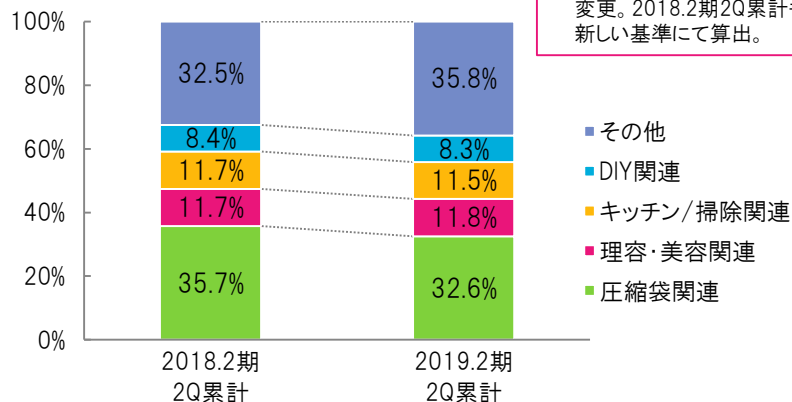


DIY商品
(モザイクタイル)

■ 主要製品別販売状況

圧縮袋関連	一部顧客の在庫管理方針変更により在庫調整の影響を受け減少
理容・美容関連	毛染関連(くし、手袋)は堅調に推移
キッチン/掃除関連	キッチン関連が低価格品中心の動きとなり減少
DIY関連	好調に推移していたモザイクタイル販売が一巡し、ほぼ横ばいで推移
その他	雑貨用ラベル向けフィルムが堅調に推移 季節商品は横ばいで推移

■ 主要製品別販売構成比(連結)



※2019.2期より区分の基準を変更。2018.2期2Q累計も新しい基準にて算出。

資産・負債の状況

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2018.2末	2018.8末		
			前期末比差額	主な増減要因
流動資産	14,154 (54.6%)	14,113 (53.4%)	▲41	現金及び預金 ▲452 電子記録債権 +321、棚卸資産 +48
固定資産	11,781 (45.4%)	12,299 (46.6%)	+518	有形固定資産 +546
資産合計	25,935 (100.0%)	26,412 (100.0%)	+476	
流動負債	11,664 (45.0%)	11,797 (44.7%)	+132	電子記録債務 ▲72 未払法人税等 +125、賞与引当金 +68
固定負債	2,761 (10.6%)	2,830 (10.7%)	+69	長期借入金 +95
負債合計	14,425 (55.6%)	14,627 (55.4%)	+202	
純資産合計	11,509 (44.4%)	11,784 (44.6%)	+274	利益剰余金 +377
負債・純資産合計	25,935 (100.0%)	26,412 (100.0%)	+476	
ネット有利子負債	2,987 (11.5%)	3,576 (13.5%)	+588	現金及び預金 ▲452 長期借入金 +95

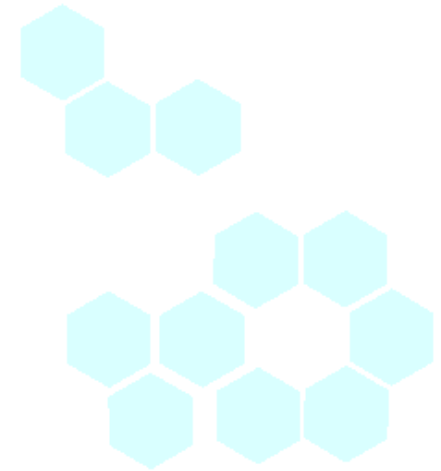
ネット有利子負債=(有利子負債-現金及び預金)

キャッシュ・フローの状況

(連結)

(単位:百万円)

	2018.2期 2Q累計 実績	実績	2019.2期 2Q累計
			概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	413	724	税金等調整前四半期純利益 919 減価償却費 425 売上債権の増加 ▲319 法人税等の支払額 ▲180
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲533	▲1,080	有形固定資産の売却による収入 12 有形固定資産の取得による支出 ▲1,052
フリー・キャッシュフロー	▲119	▲355	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲223	▲75	長期借入れによる収入 530 短期借入金の純増額 60 長期借入金の返済による支出 ▲434 配当金の支払額 ▲225
現金及び現金同等物の換算差額	▲13	▲20	
現金及び現金同等物の増減額	▲356	▲452	
現金及び現金同等物の期首残高	3,769	3,585	
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,412	3,132	



2019年2月期 業績見通し

当期の業績見通し

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2018.2期 実績	計画	2019.2期	
			前期比	
			差額	比率
売上高	32,981 (100.0%)	34,500 (100.0%)	+1,518	+4.6%
売上総利益	4,904 (14.9%)	5,300 (15.4%)	+395	+8.1%
販管費	3,573 (10.8%)	3,800 (11.0%)	+226	+6.4%
営業利益	1,331 (4.0%)	1,500 (4.3%)	+168	+12.6%
経常利益	1,486 (4.5%)	1,600 (4.6%)	+113	+7.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	981 (3.0%)	1,000 (2.9%)	+18	+1.9%

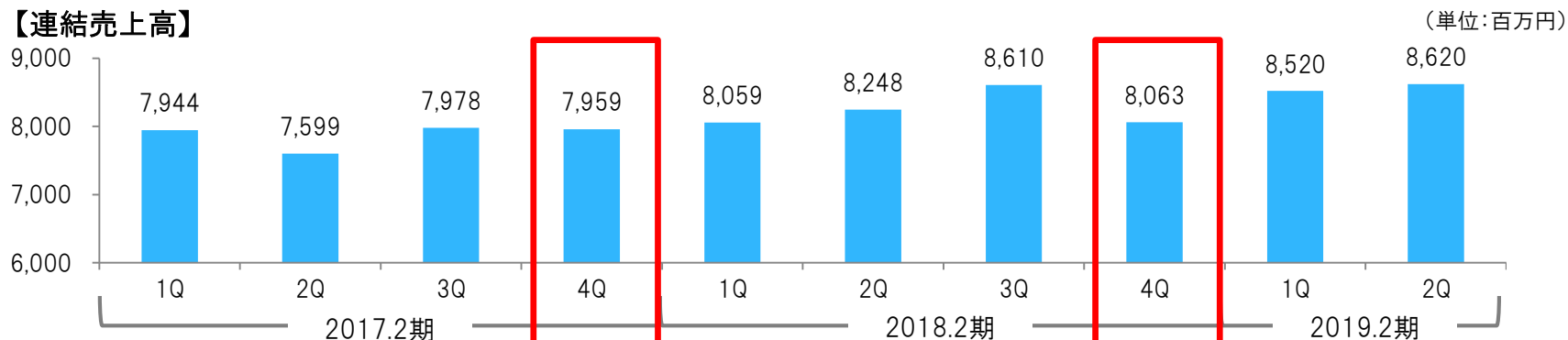
想定為替レート 16.5円/元

当期の業績見通し

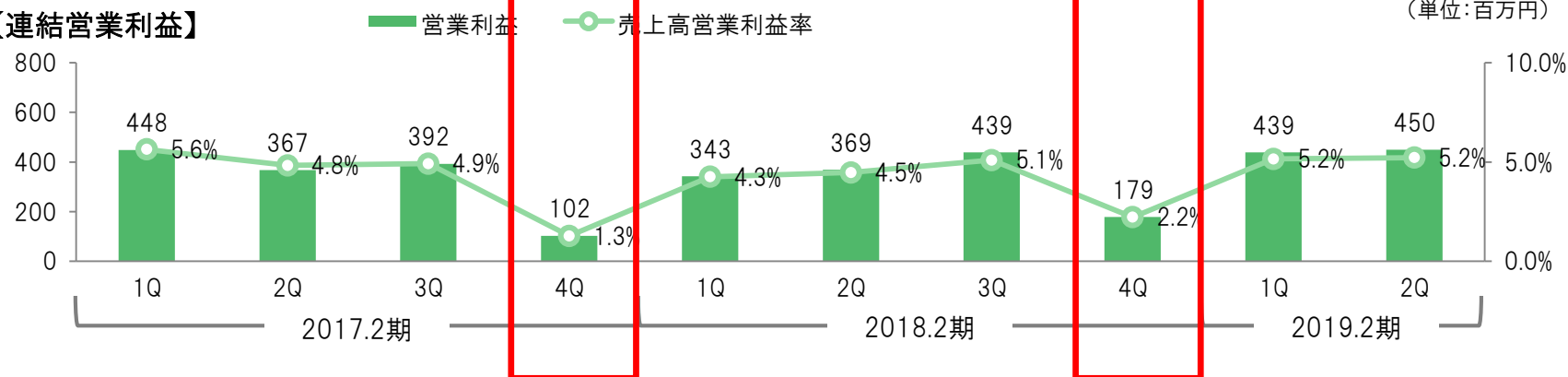
売上高・営業利益 四半期推移

- ・下期に見込んでいたIT・工業材関連での大型案件の受注を前倒して獲得したことで、下期の予算達成は厳しくなる
- ・原材料価格の上昇や、燃料費、物流費の増加などのコスト増が予想される
- ・滄州工場の立ち上げ遅れで、今期の業績には貢献できず
- ・毎年4Qは売上、利益の落ち込み傾向有り、計画以上の収益確保は難しい

【連結売上高】



【連結営業利益】



設備投資・減価償却費 計画

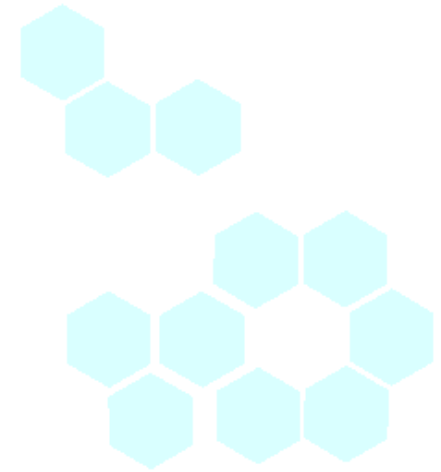
(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2018.2期 実績	計画	2019.2期	
			前期比	
			差額	比率
設備投資額	1,156 (3.5%)	2,450 (7.1%)	+1,294	+112.0%
減価償却費	940 (2.9%)	968 (2.8%)	+28	+3.0%
研究開発費	76 (0.2%)	80 (0.2%)	+3	+4.8%

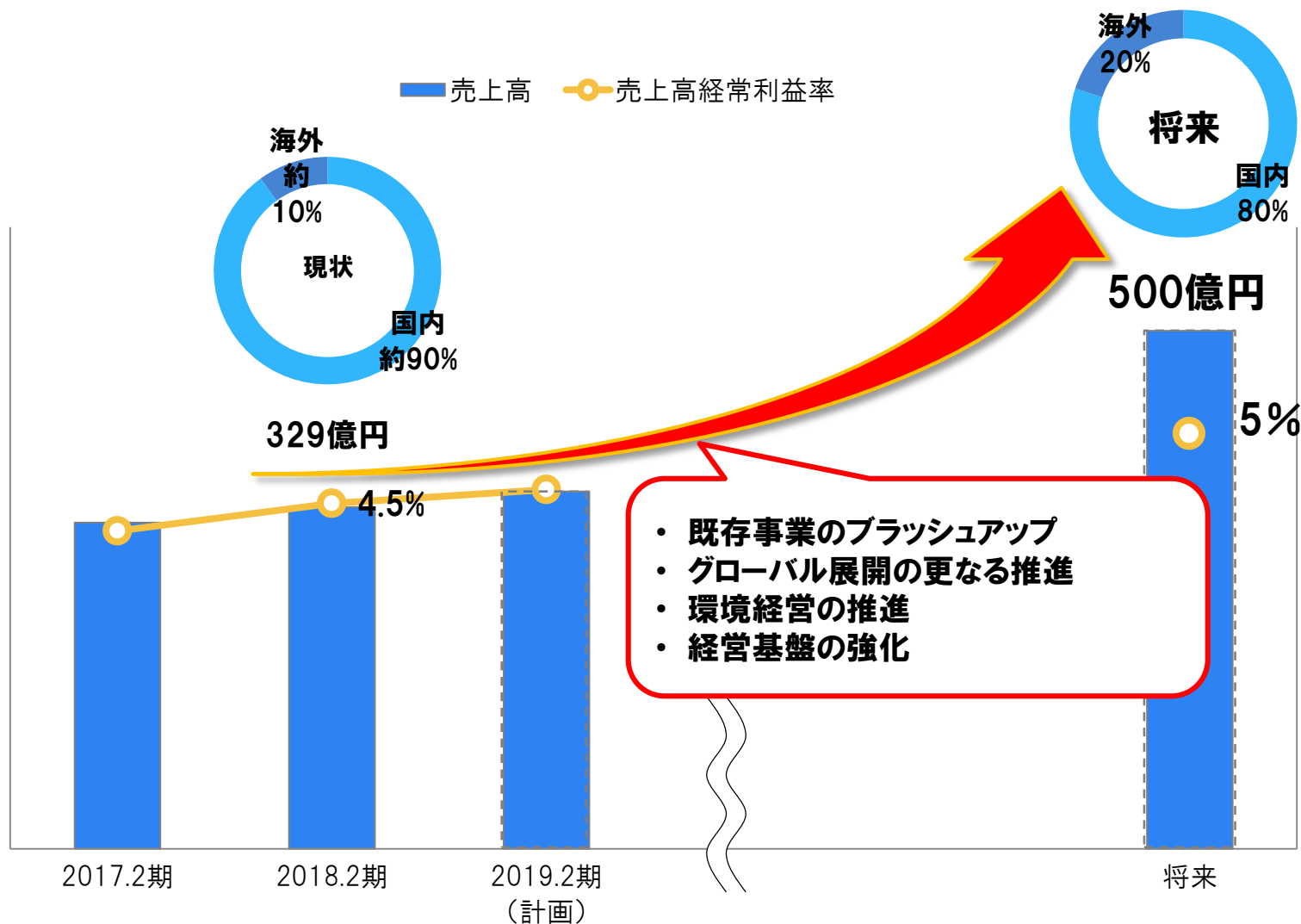
【2019.2期の主な設備投資】

件名	内容	投資金額(億円) [既実行額]
国内		
埼玉第三工場	土地・建物、機械設備等(クリーンコーター機等)	約12
名張工場 埼玉工場 製版工場	機械設備(小径グラビア・カラコン等) 環境対応(太陽光発電等) 生産設備入替(製版彫刻機)	約5
(株)中本印書館	生産設備新設(スプレー塗工機)、事務所	約1.5
中国		
滄州中本華翔新型材料有限公司	土地・建物、付帯関連工事等	約3.5



当社の中長期ビジョンについて

売上高500億円、売上高経常利益率5%確保を目指す



1

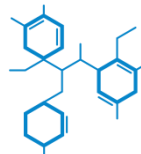
既存事業の強化



- コンビニ関連事業強化
- 機能材事業強化
(埼玉第三工場の早期立ち上げ)
- 国内子会社経営安定化
- 国際室を活用した海外子会社の経営安定化及び財務体質強化
- 在庫の適正化、ロスの削減

3

環境経営の推進



- Nブランド(PET)製品の拡販
(単一素材、より薄く、軽く、強く)
- 賞味期限を延ばす効果が期待できる食品包装の研究
- リサイクル事業の強化
- 研究開発投資金額の増加
- 研究開発人員増強と開発スピードアップ

2

グローバル展開の更なる推進



- 滄州新工場の早期立ち上げ
- 中国以外の地域への新工場建設
(チャイナプラスワン&関税対策)
- 現地ローカル人材の積極登用
- 国際室による全面バックアップ

4

経営基盤の強化



- 新規事業創出、M&A検討のスピードアップのために経営企画室を東京に移転
- 経営意思決定の速度を上げ、生産効率を改善させる為、基幹システムの刷新を計画(2021年末)
- IoT技術を生産に活用し、IT投資を進めていく
- 海外対応人材の育成・確保

既存事業の強化

■ 短納期・高品質を武器に、成長が続くコンビニ関連へ注力

【当社のコンビニ向け製品例】



パスタ容器



弁当容器



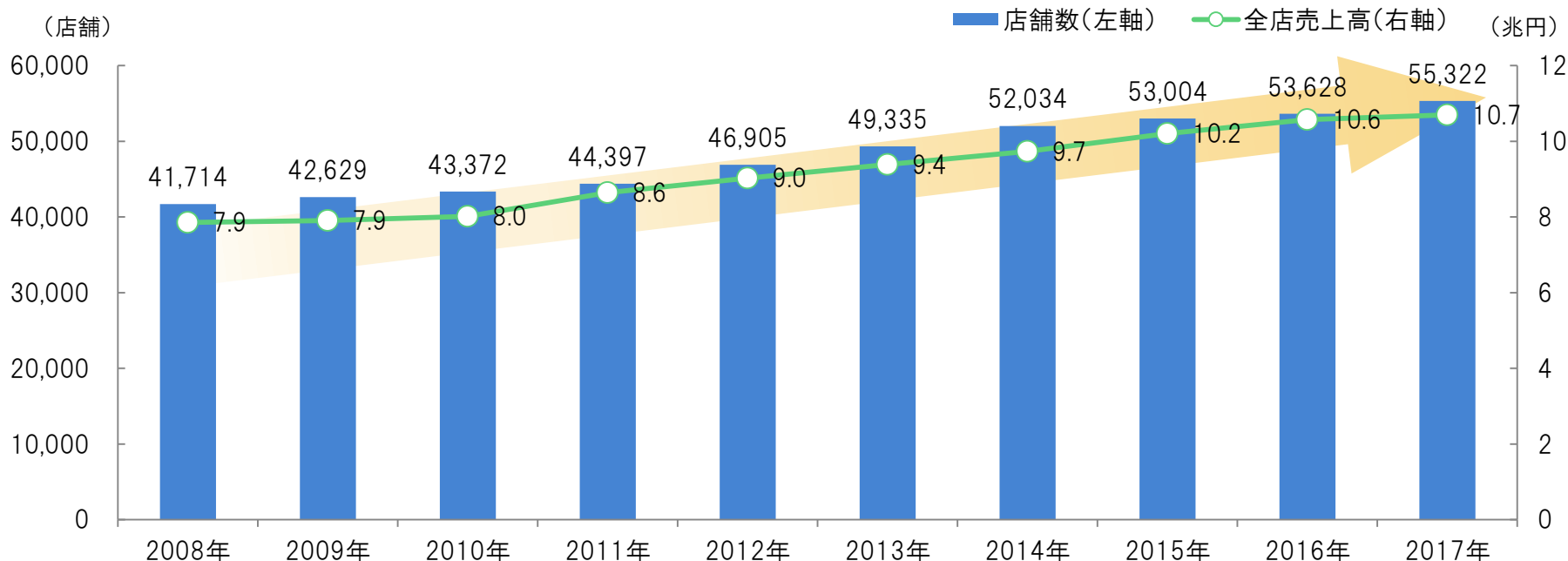
おでん容器



コンビニ各社の日配食品や冷凍食品の品揃え強化や、環境への配慮の取組み拡大は、当社にとって大きなビジネスチャンス

Nブランド拡販、短納期対応、品質アップに努める

コンビニエンスストア全店売上高、店舗数推移



出所：一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会「コンビニエンスストア統計調査」

埼玉第三工場の建設、機械導入は完了

12月の稼働を目指して最終調整中、来年3月のフル稼働を目標

完成イメージ図



完成実物写真



【狙い】

- 現状のキャパシティを上回る引き合いに対応するため、加工能力の増強を図る
→埼玉第三工場完成により、加工能力は30%アップ
- ハイクリーン環境での実績を更に深め、次世代案件の受注拡大を目指す
→機能材事業の強化

グローバル展開の更なる推進

中国滄州工場(滄州中本華翔新型材料有限公司)の進捗



2018年4月撮影



2018年9月撮影

事務所及び工場棟の外観は完成。関係当局の許認可遅れにより、内装工事と設備移設が当初の9月末予定から遅延し、現在は12月の移設を予定。

→早期の許認可取得により、設備移設と生産の立ち上げを急ぐ

自動車内装材ビジネスの流れ



米国の中国に対する制裁関税の流れ

- 1 2018年7月6日 340億ドル相当
中国からの輸入品818品目に25%の関税
 - 2 2018年8月23日 160億ドル相当
中国からの輸入品333品目に25%の関税
 - 3 2018年9月24日 2,000億ドル相当
中国からの輸入品5,745品目に10%の関税
 - 4 2019年1月予定 2,000億ドル相当
3の対象品目に対する関税を10%から25%へ
- (参考)米国の中国からの輸入額(2017年:5,055億ドル)

第三弾で弊社製造中国製品のほぼ全てに関税が発生したが、現時点で弊社業績に与える影響は軽微

チャイナプラスワン

中国以外の国での製造拠点設立、その他リスクヘッジ方法の検討を開始

環境経営の推進

社会課題

- 省資源
- CO₂削減
- 海洋廃棄プラスチック
マイクロプラスチック問題
- 食品ロス削減
- 大気汚染
- 産業廃棄物の削減

中本パックスの事業活動による貢献

①リサイクル可能なPET樹脂製品群(Nブランド)の開発・販売

- NAK-A-PET(より薄く、軽く、強く→省資源、CO₂削減)
- NC-PET(省資源、CO₂削減に高耐熱機能をプラス)

②賞味期限を延ばす効果が期待できる食品包装で食品ロスの削減に貢献

- 酸素・水蒸気バリアコーティング
- バリアフィルムラミネート等



③生分解性インキ、水性インキ・接着剤の採用(VOC削減)

④自社リサイクルペレット事業の拡大(産業廃棄物削減)

■ PET改質技術をベースに様々な特徴を付与したPET製品を開発

「薄く、強く、環境に優しい」が製品開発のコンセプト

NAK-A-PET

- 特徴**
- ① 高剛性なので薄肉化が可能(省資源、コストダウン可能)
 - ② 通常のA-PETより耐熱性が高い(70~100℃)
 - ③ リサイクル可能な素材、環境及び食品衛生等に配慮した設計
- 用途** 主に菓子、農産物などのトレイ



NC-PET

- 特徴**
- ① 耐熱性に優れている(220℃(但し成型条件による))
 - ② 耐寒性、保香性、剛性も高い
- 用途** 主にグラタン等の焼成メニューや機肉食などの容器



NS-PET

- 特徴**
- ① PETフィルムだがヒートシールが可能
 - ② 保香性が有り、コーヒー等強い香りをバリアすることが可能
 - ③ 耐熱性が有り、電子レンジ対応が可能
- 用途** 主に揚げ物惣菜のテイクアウト用袋

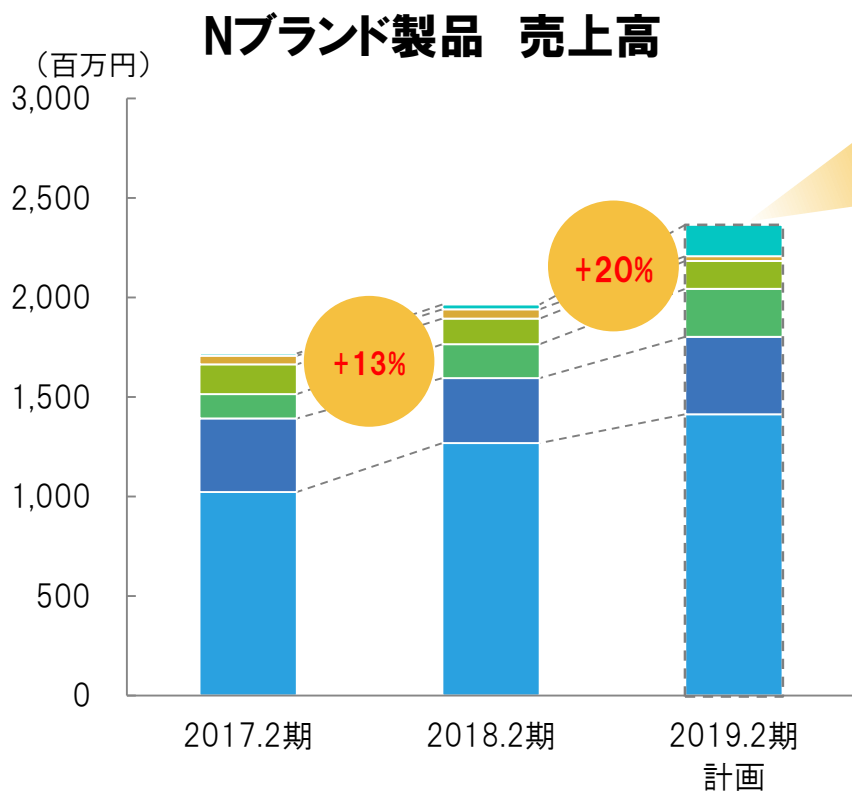
従来品



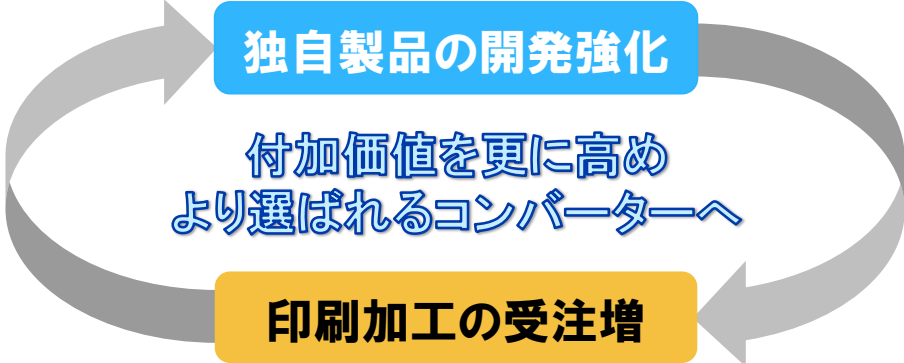
NS-PET使用の袋



■ Nブランド製品の販売を拡大し、業界でのプレゼンスを向上



**Nブランド製品
売上高
50億円/年を目標**



■ NSセパ ■ Nコート ■ NAK-A-PET
■ NTS II ■ NC-PET ■ NS-PET

経営基盤の強化

- 新規事業創出、M&Aの検討を担う経営企画室を東京に移転
- 基幹システムの刷新を計画(年内にプロジェクトスタート)

☆経営企画室の役割を変更

<~18年8月>

- ◆ 予算管理
- ◆ 社内会議の取り纏め
- ◆ IR対応(東京出張)

<18年9月~>

- ◆ 予算管理
- ◆ 社内会議の取り纏め
- ◆ IR対応
- + 基幹システムの刷新
- + 新規事業の検討
- + チャイナプラスワンの検討
- + M&Aの検討

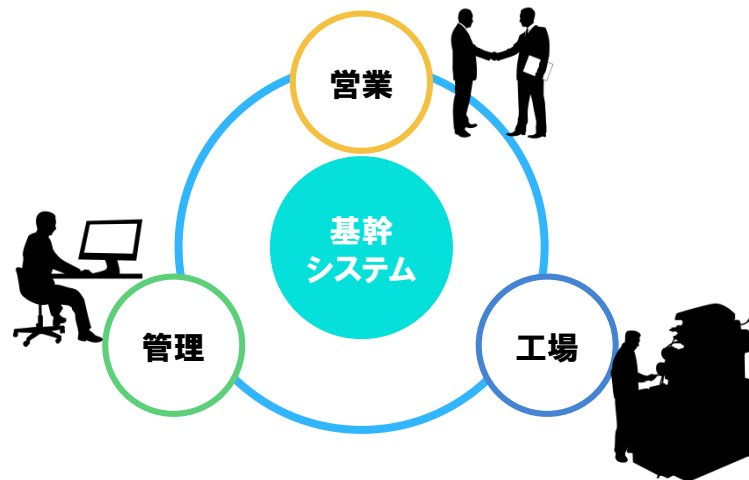
- ・ 情報・人材が集中する東京へ拠点を移転
- ・ 専門知識を持つ人員の増強

既存事業の枠に囚われない成長を目指す

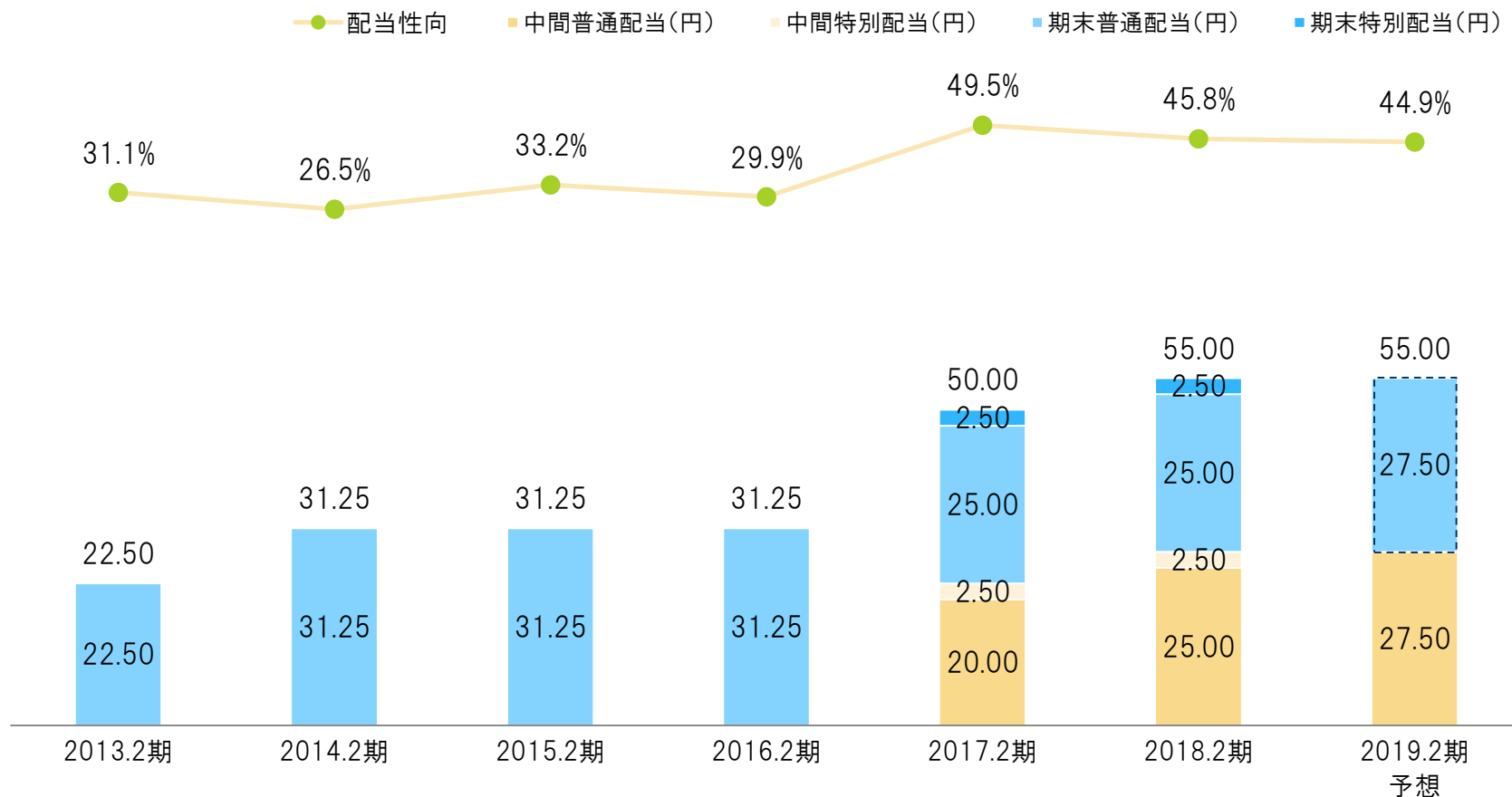
☆基幹システム刷新の狙い

(現在の基幹システム刷新の方向性[検討中])

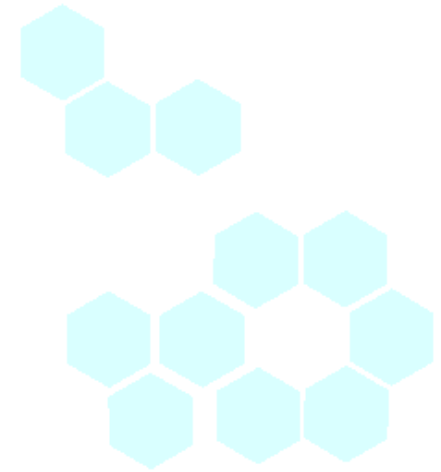
- ・ 各種経営指標早期把握による経営判断のスピードUP
- ・ SCMによる効率的な生産と適正在庫
- ・ データ活用による、営業活動の効率化
- ・ 定例業務の見直し、業務の効率化
- ・ グループ経営の強化
- ・ IoT導入による効率化と品質改善



- 必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を実施していく
- 年間配当55円(中間27.5円、期末27.5円)を予定



(注)2015年6月に1対200、2018年3月に1対2の株式分割を実施。1株当たり配当金は遡及修正値



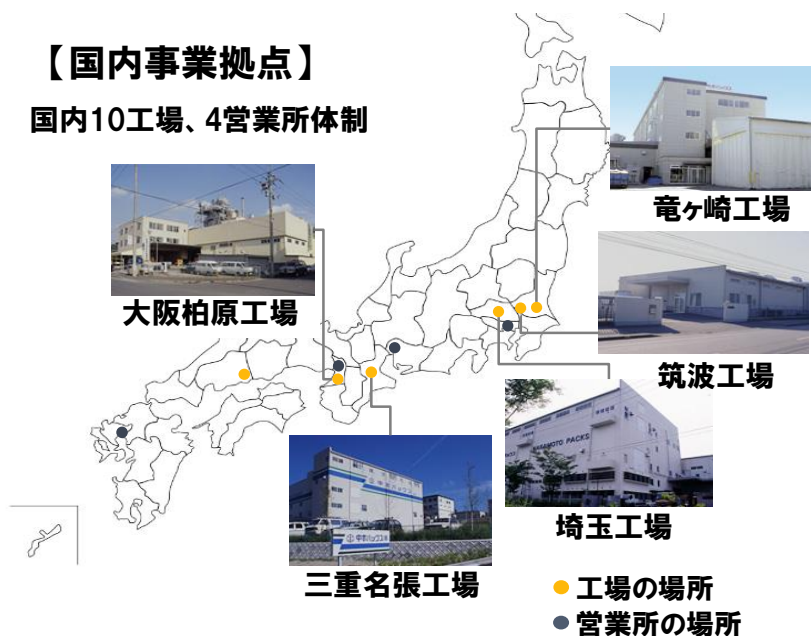
参考資料

商号	中本パックス株式会社
市場・コード	東証1部・7811
所在地	大阪市天王寺区空堀町2番8号
代表者	中本 高志(代表取締役会長) 河田 淳 (代表取締役社長)

設立	1950年〈創業1941年〉
資本金	1,057百万円(2018年2月末)
従業員数	848名(連結)(2018年2月末)
グループ会社	連結子会社13社(国内7、国外6) 持分法適用関連会社1社

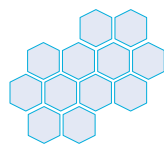
【国内事業拠点】

国内10工場、4営業所体制



【海外事業拠点】

海外4工場、2営業所体制



グラビア印刷

極薄フィルム～厚物シート
ダイレクト印刷が可能

コーティング加工

ハイクリーン環境で
半導体～医薬品部材まで

ラミネート加工

食品～自動車まで
様々な材料を貼合わせ

最終製品

【食品関連】



弁当や惣菜等の容器及びトレイ



乳製品・菓子・豆腐・ハム・
ソーセージ等の食品包装

【IT・工業材関連】



PC及びスマートフォン



自動車の内装部材

【医療・医薬関連】



医薬品の外装袋や個包装
湿布等のセバレートフィルム

【建材関連】



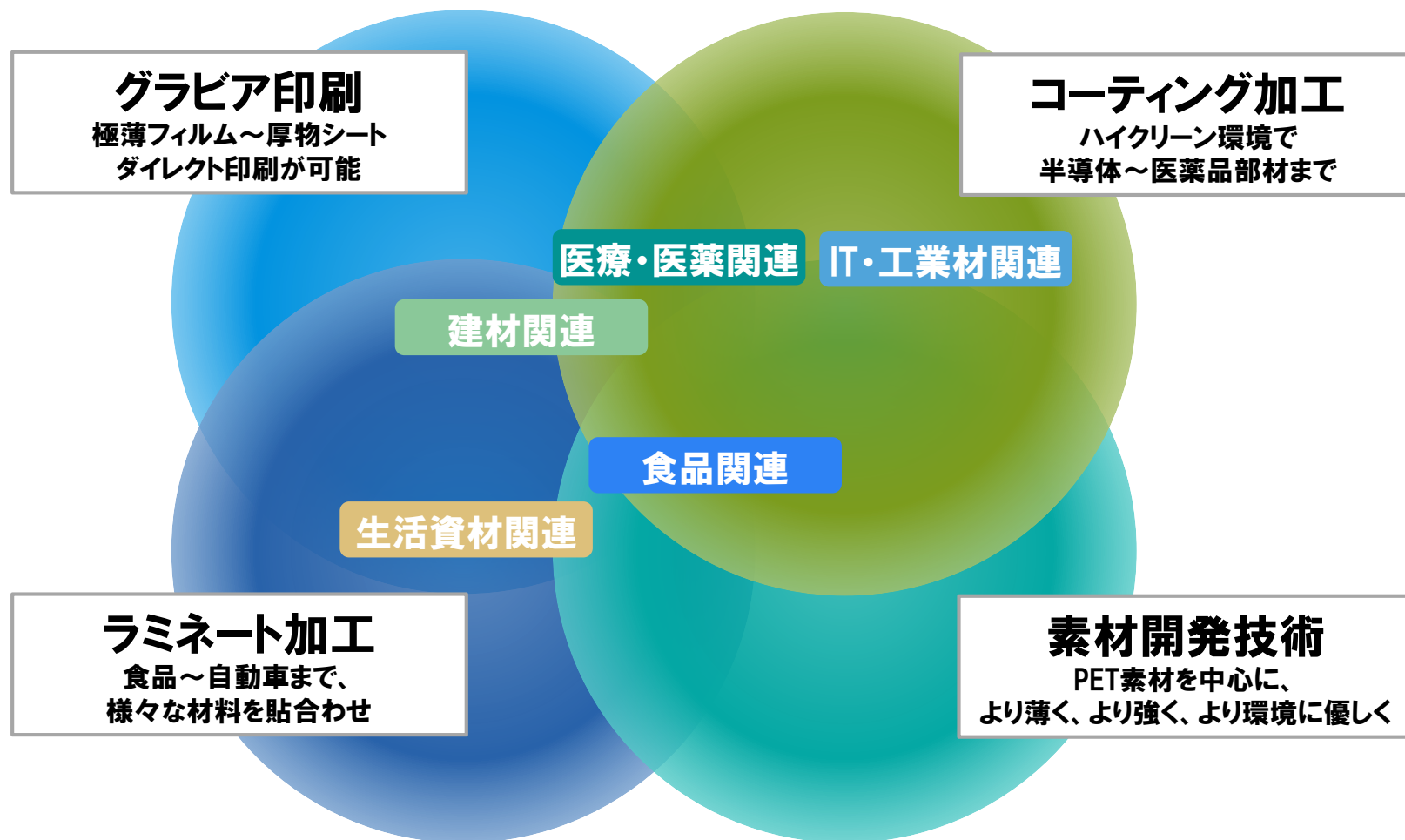
家具・ふすま紙・壁紙

【生活資材関連】

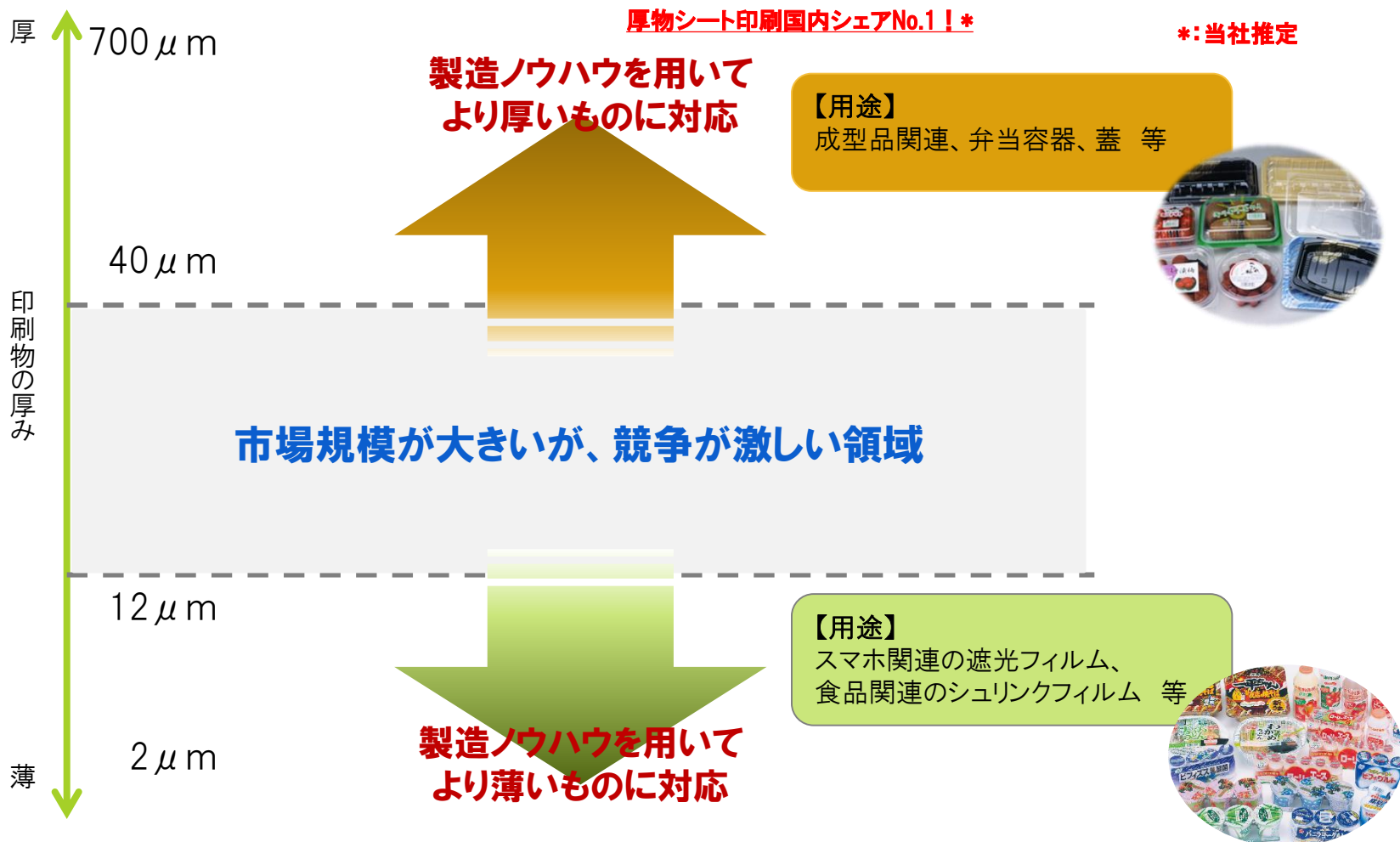


布団の圧縮袋等日用品

■ 4つのコア技術が多様な用途への展開を可能としている



■ 技術を磨き、競合が少ない厚み領域での展開を強化



■ 幅広い顧客ニーズに迅速かつ柔軟に対応可能な体制を構築



クリーン度クラス1,000以下

▲クリーンルーム(埼玉工場)

- ✓ 単なる受託加工ではなく、最適なコーティング加工もご提案

1

高位なクリーン環境で一貫生産

- ✓ クリーン環境下でコーティング加工だけではなく、スリット加工、ラミネート加工まで対応
- ✓ 新工場のクリーン度はクラス1,000（実測値1,000未満）

2

機械製造・改造 エンジニアリング力

- ✓ コータ機をはじめ、印刷機等も自社で製造・スピード改造
- ✓ お客様の要求を満たす仕様を実現



▲NSセパ

3

最新鋭の設備 加工キャパシティ

- ✓ 多様な塗工方式・広幅に対応
- ✓ コロナ処理、UV加工等の多様な表面処理が可能
- ✓ 埼玉、名張、筑波の3拠点9台
- ✓ 24時間×360日稼働
- ✓ 実績豊富な自社ブランドNSセパを保有

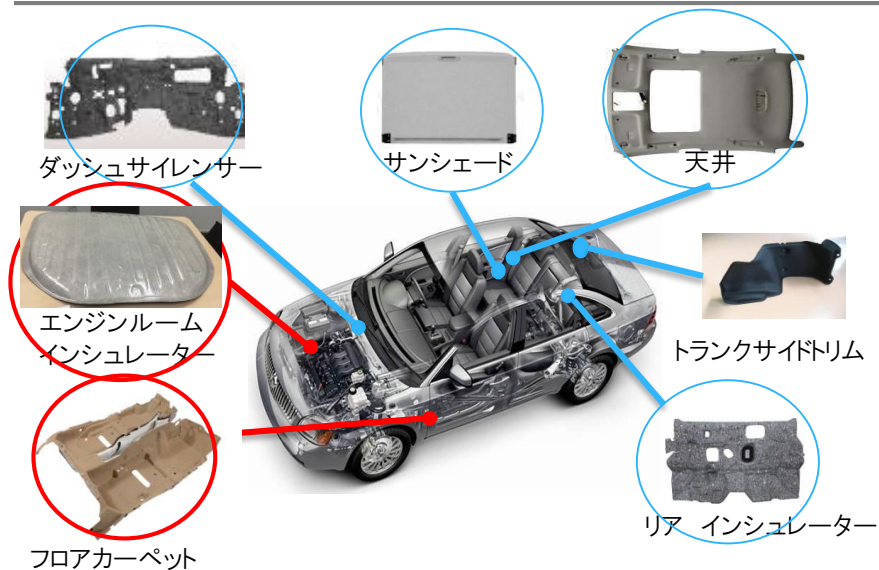
4

お客様のご要望に 柔軟に対応

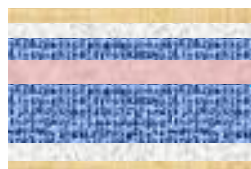
- ✓ コータ機の時間貸し方式（1時間～、フレキシブルに利用可）
- ✓ 幅広い加工実績（医薬品～電子部材）
- ✓ 少量試作から大量生産まで対応

■ ドライラミネート、サーマルラミネート、押出ラミネートの各種ラミネート技術で様々な用途やニーズに対応

自動車内装材への展開(サーマルラミネート)



天井内装材の構成



不織布
 特殊接着性多層フィルム } ←当事業領域
 ガラス繊維
 発泡ウレタン
 ガラス繊維
 接着フィルム
 表皮素材

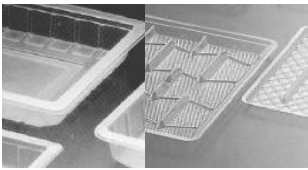





NS-PETへの展開(押出ラミネート)



◀ 押出ラミネーター機

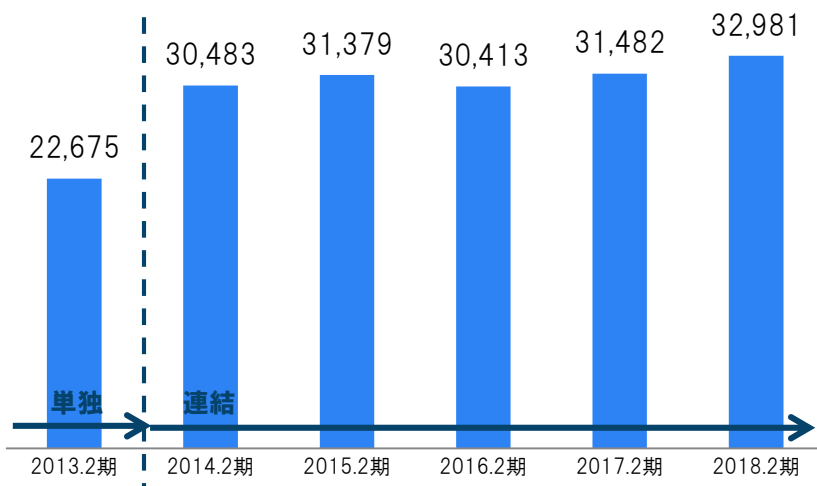
■ 押出ラミネーター機の概要(竜ヶ崎第二工場)

用途	自社開発品(NS-PET)製造専用機
生産能力	300トン/月
売上高目標	12億円/年
販売戦略	・コンビニテイクアウト用総菜袋 ・電子レンジ対応容器 等

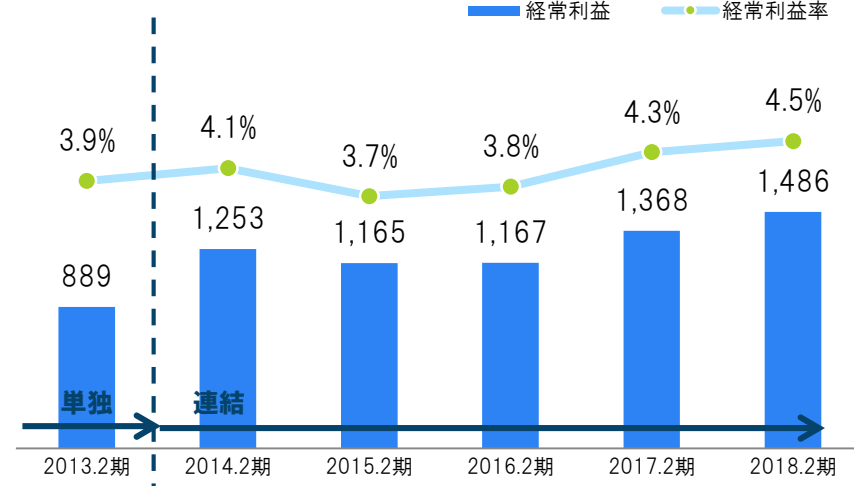
名称	特徴	用途	製品イメージ
NAK-A-PET (耐熱性を向上したポリエステルシート)	① 薄肉化により省資源化 ② 電子レンジ使用が可能 ③ リサイクル可能な素材、環境及び食品衛生等に配慮した設計	<ul style="list-style-type: none"> 耐熱容器の蓋 食品用トレー 電子部品用トレー 	
NC-PET (高耐熱性及び耐寒性のあるポリエステルシート)	① 高温での調理が可能 ② 耐寒強度も強い ③ 高剛性なので軽量化も可	<ul style="list-style-type: none"> オープン調理用食品容器(主にグラタン等) 高温殺菌食品容器 	
NS-PET (熱接着性のあるポリエステルフィルム)	① ヒートシール性が良好 ② 保香性: コーヒー等香りを保持 ③ 耐薬品性、耐油性に優れている	<ul style="list-style-type: none"> テイクアウト用食品袋(主に揚げ物惣菜) コーヒー、お茶等の袋 	
NTS II (成型可能高光沢ポリプロピレンフィルム)	① 容器の表面が高光沢に仕上がる ② 高剛性なので薄肉化が可能 ③ 高耐熱性	<ul style="list-style-type: none"> 食品容器 	
NSセパ (ポリエステルの離型フィルム)	① クリーン環境で製造 ② 剥離力の設計が可能	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン、液晶ディスプレイ等の生産 貼付剤の離型フィルム 	
Nコート (ポリプロピレン系合成紙)	① 水に強い ② 輝くような白さと光沢感 ③ 高い平滑性と強度	<ul style="list-style-type: none"> 飲料ボトルラベル 壁紙 	

業績推移 1/2

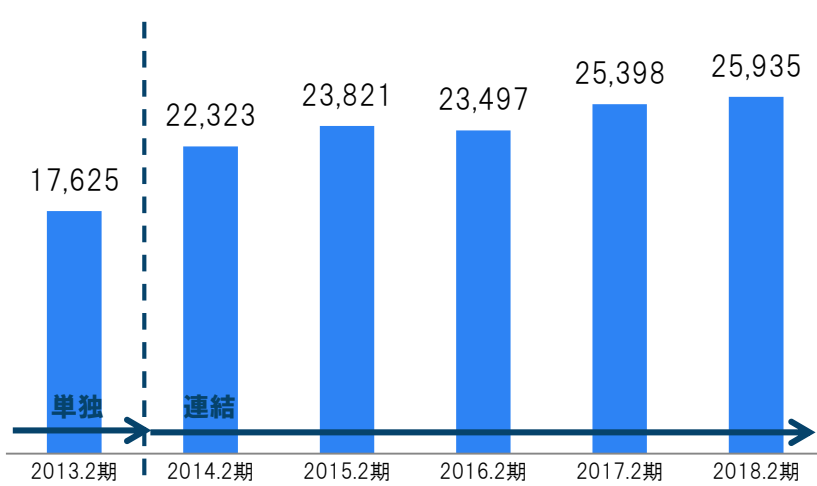
売上高推移 (百万円)



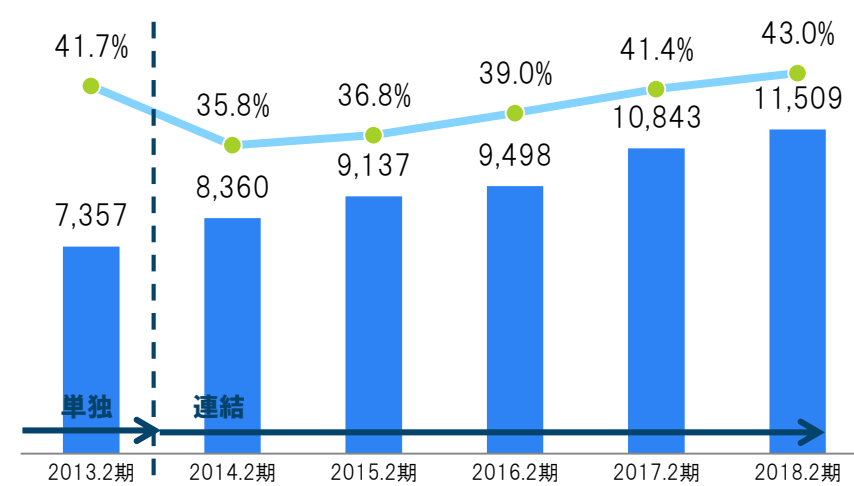
経常利益推移 (百万円)



総資産推移 (百万円)

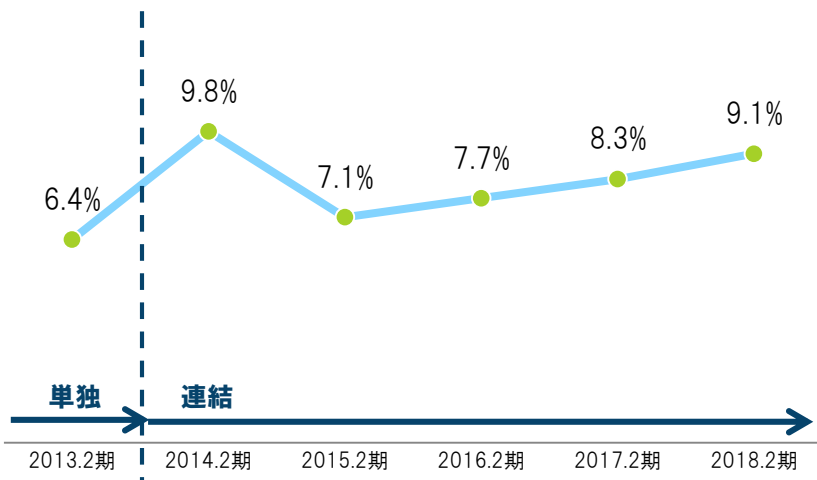


純資産推移 (百万円)

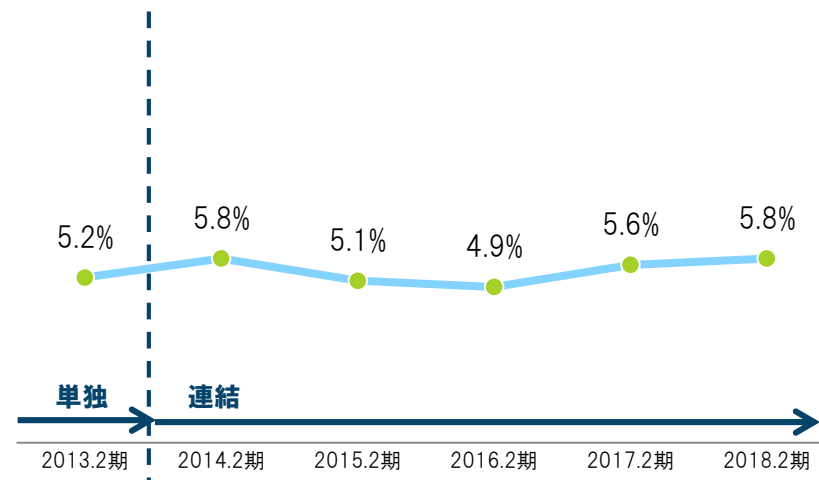


業績推移 2/2

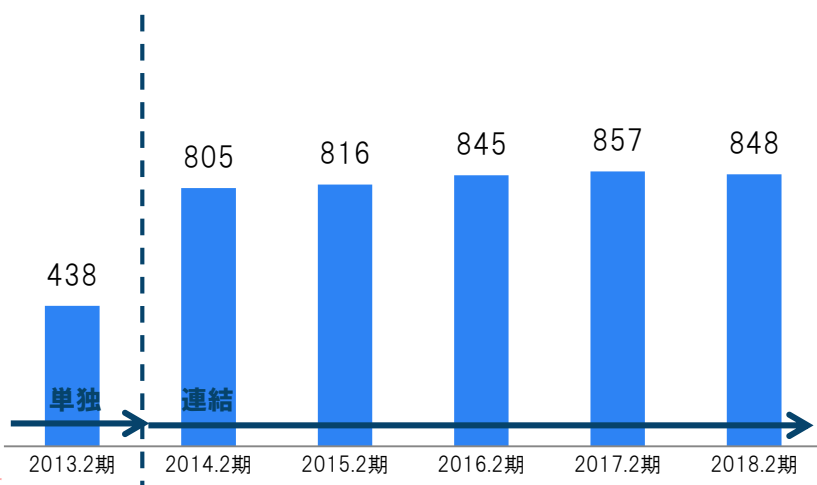
ROE推移



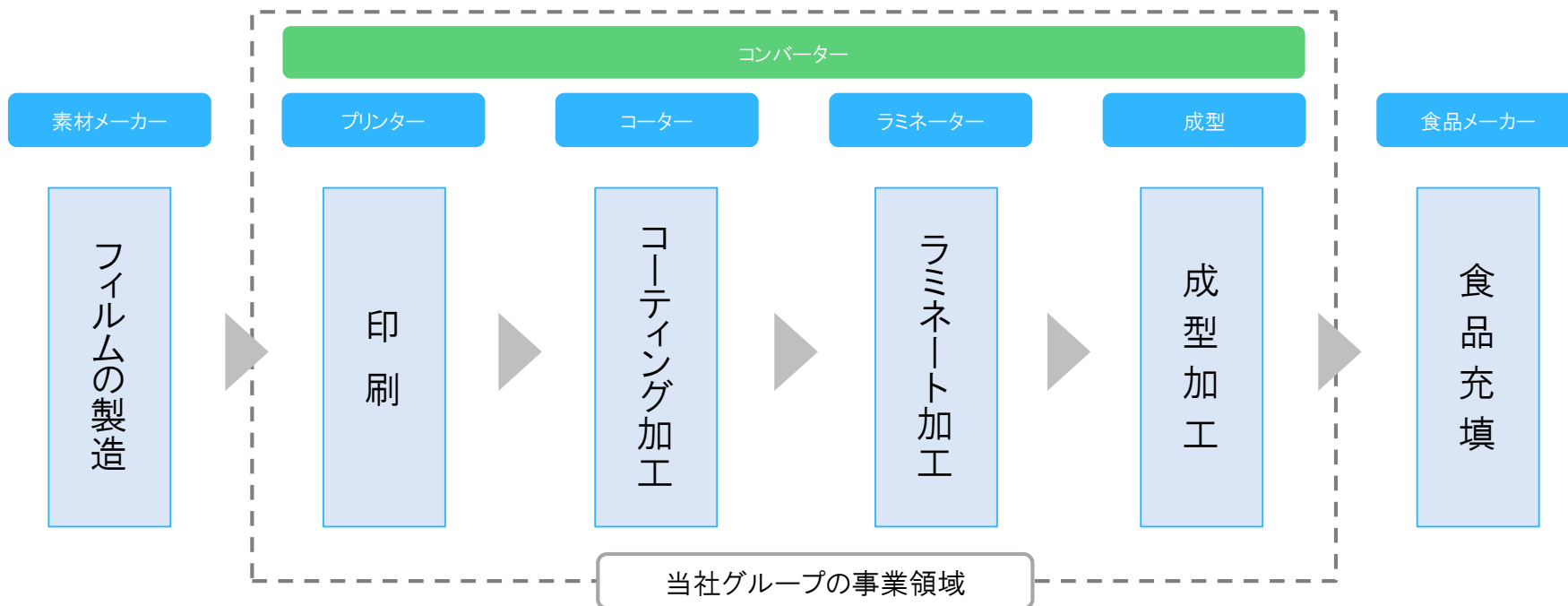
ROA推移



従業員数推移 (人)



包装材印刷加工のプロセス(例)



種類	説明
グラビア印刷	凹版印刷(印刷しようとする文字や模様などの部分が凸版印刷と反対に窪んでいる版面を使う印刷)で、微細な濃淡が表現できる
ラミネート加工 (ドライラミネート及びサーマルラミネート)	包装材料の強化及び機能付加を目的として、接着剤により多層複合化すること
コーティング加工	素材表面を樹脂等の薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性を持たせること
成型加工	プラスチックシートに熱を加え、形を変えること(食品用容器、トレー、蓋等)インフレーション法により、プラスチックフィルム及びシートを製膜すること

“人に、環境にやさしい企業をめざして～クリーン＆セイフティ～”

社是

「事業は人なり人は心なり、楽しい会社を努力と奉仕と人の和で」

経営行動綱領

「誠実と誠意で信用を高めよう」

「忍耐を以って創意工夫をしよう」

「自己を啓発し協調精神を養おう」

「共存共栄を計り社会に貢献しよう」

「技術向上と力闘精神を発揮しよう」

「礼節と報恩で喜びを得よう」

使命観6ヶ条

「私達は顧客の声を心を開いて聞きます」

「私達は印刷及び包装容器に新しい技術を蓄積し提供します」

「私達は社内外の連絡を密にし、スピードと誠意で納期を厳守します」

「私達はお得意先との共存共栄を追求し繁栄に責任をもちます」

「私達は感動される仕事とシステムを通じ、より多くの固定ファンをつくります」

「私達は運命共同体中本グループのオアシス境をつくります」

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。

